

アクリノール(乳酸エタクリジン)

Acrinol(Ethacridine lactate)

上 150mL、5 歳以下 50~100mL とし、反復して胃洗浄を行う。

活性炭(粉末):成人 30~100g、小児 15~30g(1~2g/kg)

を胃洗浄のあと、生理食塩水または D-ソルビトールとともに胃管より投与する。

下 剤:硫酸マグネシウムまたは硫酸ナトリウム(成人 20~30g/回, 小児 250mg/kg/回)、あるいは D-ソルビトール(35%)(成人 1~2g/kg/回、1 歳以上の小児 1~1.5g/kg/回)を活性炭 が排泄されるまで 4~6 時間ごとに投与する。イレウスや腸雑音の聴取しえないものには禁忌であり、幼児には 2 回/日以上投与しない。下痢による体液喪失に注意する。硫酸マグネシウム過量投与による高マグネシウム血症の報告があるので注意する。

2) 輸液、その他の対症療法。

使用上の注意

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

＼	頻度不明
皮膚 ^{注1)}	潰瘍、壊死、塗布部の疼痛・発赤・腫脹等
過敏症 ^{注2)}	過敏症状

注1)このような症状があらわれた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

注2)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

外用にのみ使用し、内服しないこと。

毒性

ウサギ-皮下	MLD: 100mg/kg
ウサギ-静脈	MLD: 30mg/kg
ウサギ-腹腔	MLD: 50mg/kg
マウス-皮下	LD ₅₀ : 120mg/kg
マウス-皮下	MLD: 75mg/kg
マウス-腹腔	MLD: 42mg/kg
マウス-静脈	MLD: 15mg/kg

MLD: 最小致死量、LD₅₀: 50%致死量

副作用

接触皮膚炎: 塗布によりアレルギー反応や湿疹反応が報告されている。

中毒症状

悪心、嘔吐、腹痛、下痢などの消化管刺激作用、過敏症状を現すことがある。大量では肝機能障害がみられることがある。

治療

■経口の場合

1)大量服用時には、胃洗浄、活性炭、下剤の投与などを行う。方法は下記の通り。

胃洗浄: 大量の生理食塩水で胃洗浄を行う。服用後短時間内のものに有効である。意識レベルの低下しているものには気管内挿管により気道を確保したうえで行う。意識のある場合は側臥位をとらせ、吸引装置を用意し、肺への誤嚥を防止するようにする。洗浄液の 1 回注入量は 5 歳以

参考文献

- 1) Hartung, J. & Rudolph, P.: Hufige Allergien bei Unterschenkel-Ekzematikern. Z. Haut-Geschlechtskr., 47: 375,1972.
- 2) Rudzki, E. & Baranowska, E.: Contact sensitivity in stenosis dermatitis. Dermatologica, 148: 354,1974.
- 3) Kuszynska-Cieslik, G., Trenkker, E., et al.: Evaluation of rivanol in the aspect of post-therapeutic complication. Tyg. Lek., 33: 183,1978.
- 4) 荒金兆典, 原田 正・他: アクリノール接触皮膚炎の1例. 皮膚, 29(増): 237,1987.